

## 2020年度 第1回二次電池部会を開催

2020年10月15日(木)、遠山部会長(昭和電工マテリアルズ)を議長に2020年度第1回二次電池部会をWeb会議形式で開催した。

開会に際して、事務局よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールに則り部会進行する旨の確認がなされたのち、遠山部会長ならびに清水専務理事の挨拶があった。続いて、前回議事録の確認、各委員会の代表者による委員会活動の報告を行った。

### 1. 遠山部会長の挨拶

2020年度、前任から引き継ぎ今回が初めての部会になる。社名が10月1日変更となり、日立化成から昭和電工マテリアルズに変更となった。

2020年度2月以降、コロナ禍対応により我々を取り巻く環境は大きく変化した。特に健康と安全を守るという前提の中で、経済をどのように立て直すのかが大きな課題となっている。この状況はまだ続くと思われ、今後もwithコロナを前提として働き方も変わってきており、これまでに経験のない大きな変化の始まりの年であると感じている。

これらの情勢を踏まえ、二次電池部会でも求められるニーズを再確認し、安全・健康・環境をキーワードとして、各委員会の活動内容がどのように世の中に貢献していくかという視点で報告内容を確認し、今後の活動のブラッシュアップにつなげたい。

### 2. 清水専務理事の挨拶

前回の部会(2月)以降コロナの影響が出てきており、工業会の活動がどのようになっているのかを先日再確認した。結果、それぞれの活動については大きな影響がないことが確認できた。各委員会等はWeb会議を活

用し、国際及び国内会議でしっかりとした議論をしてもらっている。そのため、会議費用、出張費用が大きく削減されている。そのような結果も踏まえて、来年度の事業計画は建てる必要があると考えている。活動の質を低下させずに、より費用を抑えた事業計画が立てられるのではと考える。

### 3. 各委員会活動報告及び活動計画について

#### 1) 広報総合委員会

- ・展示会・イベント関連；本年度はコロナ禍の影響で、最も大きなイベントである電池フェスタの開催が、予定の2回ともに中止となった。手作り乾電池教室についても、昨年の52会場開催から11会場開催と大きく減らしての開催となっている。
- ・キャンペーン・PR活動；乳幼児誤飲防止の交通広告、啓発記事広告等について報告された。未来の電池、道具アイデアコンテストは、数年続けてきたためか応募数が減少してきているためテコ入れ策を検討中。
- ・情報発信；展示会等を中止せざるえない状況下、他のコンテンツで補えないかを模索中出たアイデアのうち、Web動画にて3~5分もの3本の制作を計画中。

## 2) 国際環境規制総合委員会

- ・2020年7月に「世界の電池環境規制の状況」11版を発行。
- ・欧州委員会、持続可能なバッテリー要件に関するイニシアチブに関する公開協議を開始；欧州委員会は、欧州における持続可能なバッテリー生産ならびに、より容易なバッテリーのリサイクルを促進すること、さらには成長市場にある電気自動車に用いられるバッテリーを持続可能なものにするなどなどを目的に掲げた法的措置を2020年の第4四半期に予定。課題、政策オプションを資料に基づき説明された。この件に関連して、BAJとしては欧州委員会に意見書を提出した。
- ・韓国環境部、は2020年7月上旬「電気電子製品及び自動車の資源循環に関する法律」の大統領令の改定案を再度発表；資料に基づき説明された。
- ・中国リサイクル関連については今回動きがなく、報告事項なし。

## 3) 資材委員会

- ・共有金型管理状況について、資料に基づき報告された。
- ・共有金型管理表については、各社が管理している金型貸与管理台帳と整合させることが、現時点では困難と判断しペンディングとした。

## 4) 自動車用鉛電池リサイクル委員会

- ・2020年度上期 SBRA リサイクルシステムの運用状況報告；資料に基づき報告された。回収量については、2013年から2018年にかけて減少してきたが、2019年に増加、2020年度も増加傾向が続いている。これは鉛価格が下がっていることが要因で、SBRAの（鉛蓄電池回収としての）セーフティーネットが機能していると判断している。

## 5) 二次電池技術委員会

- ・主な活動テーマと進捗状況については、資料に基づき報告された。
- ・重要テーマ・トピックスとして、①自動車始動用、補機用鉛蓄電池 IEC規格改正・新規制定対応（IEC60095：Starter and Auxiliary batteries）、②電池種類 識別記号表示（IEC62902：Marking symbols for identification of their chemistry）改正対応、③JIS C8704-1(据置鉛蓄電池-一般的要求事項及び試験方法-第一部:ペント式)改正対応の3点の状況について資料に基づき報告された。

## 6) PL委員会

- ・2020年度活動実績について資料に基づき報告された。
- ・活動で得られた成果として、「始動用バッテリーの市場における事故件数の調査・集計と事例確認」の解析を行った結果が資料に基づき報告された。この結果については関係省庁にも報告済み。
- ・例年であれば直接小売業者などに赴き爆発防止の啓発活動を行ってきたが、今年度はコロナの影響で実施できず、顧客の声を聴くこともできていない。

## 7) 産電リサイクル委員会

- ・変更申請については、省庁側がコロナ禍の影響で在宅勤務等をしており、申請書を印刷して確認している関係で、審査作業が停滞し遅れが生じており、認可証が出てこない状況が続いている。
- ・東邦亜鉛が行政処分を受けての広域認定除外申請、佐川急便から各社選定による小口配送業者への変更についても広域認定の変更申請を推進中。
- ・BAJ HP改訂については、こちらも環境省との内容にかかわる調整に遅れが生じていたものの、まもなく審議完了予定。改訂の実務作業に移行し、今年度中には完成予定。引き続きリーフレット改訂にも取り掛かる。
- ・広域回収量については7月度落ち込んでいるが、各社情報からコロナ影響で電池点検作業や交換作業ができなかったのではと推定している。
- ・広域認定先に対する立ち入り監査を実施しなければならないが、今年はコロナの影響で各社ともに実施ができていない。コロナ影響が低下次第実施していくことになるはずであり、費用発生することを承知しておいていただきたい。

## 8) 環境委員会

- ・ヨーロッパELV、電池指令関係情報；EUROBATから法改訂へ影響を与える鉛／鉛蓄電池の製造～廃棄・リサイクルにわたる環境対応についての協力依頼が来ており、BAJとして対応を協議しているが、具体的に日本が協力すべき内容が不明であるため、質問状を出している状況で回答待ち。回答によっては環境委員会だけでは処理できない可能性もあるため、技術委員会の協力もしくは専門委員会の立ち上げ等が必用な可能性がある。
- ・「unicef」と「PURE EARTH」が発表した「有毒な真実：子供たちの鉛汚染への暴露は、将来の可能性ある世代を損なう」というタイトルのレポートについて、

---

資料に基づき報告された。

- ・その他、鉛蓄電池に影響の与えそうな欧州からの情報が3点（欧州持続可能なバッテリー要件に関するイニシアチブ・欧州原材料アライアンス創設・EUサプライチェーン法）出ており、これらについても注視する必要がある。

## 9) 事務局報告

- ・社名変更報告；日立化成株式会社→昭和電工マテリアルズ株式会社。
- ・予算執行状況、電池販売統計について事務局から報告された。

# 2020年10月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議 他	14日(水)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	蓄電池設備整備資格者講習_徳島県会場の可否判定。
	15日(木)	新種電池研究会	新種電池に関する情報交換、他。
	16日(金)	広報総合委員会	啓発動画制作最終確認、電池月間PR、他。
	22日(木)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、他。
二次電池部会	5日(月)	駆動用車載LIB委員会・リユース規格分科会合同会議	車載LIBのリユースに関する検討。リユースガイドライン規格の検討。
	15日(木)	二次電池部会	各総合委員会、委員会の4~8月活動実績報告。
	16日(金)	用語分科会	SBA S 0405改正審議。
	16日(金)	充電器分科会	SBA S 0904改正審議、9資-01改正審議。
	23日(金)	電気車鉛分科会	SBA G 0805改正審議(完了)、0807改正審議。
	26日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域認定申請状況確認、工業会HP内容改訂審議。
二次電池第2部会	5日(月)	駆動用車載LIB委員会・リユース規格分科会合同会議	車載LIBのリユースに関する検討。リユースガイドライン規格の検討。
	8日(木)	据置LIB分科会	IEC規格対応。
	12日(月)	国際電池規格委員会	IEC規格 審議対応。
	14日(水)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討。
	14日(水)	環境規格分科会	IEC規格 対応。
	15日(木)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。
	16日(金)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格、JIS規格検討。
	19日(月)	LIB安全性技術WG	内部短絡試験に関する技術検討。
	21日(水)	リチウム二次分科会	IEC SC21A WG4会議報告、IEC62133-2 ED2検討、「ポータブル機器におけるリチウムイオン二次電池の安全利用に関する手引書」改正検討。
	21日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	23日(金)	据置LIB分科会	IEC,ISO規格対応。
	23日(金)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	27日(火)	法規WG	蓄電池の規制検討。
	一次電池部会	7日(水)	合同委員会(規格小委員会、リチウム小委員会)
8日(木)		規格小委員会	JIS C 8500、8515改正審議。IEC60086-6 JIS化検討、他。
8日(木)		リチウム小委員会	IEC対応、リチウム電池輸送規制対応、他。
13日(火)		リチウムコイン二次電池国際規格WG	IEC SC21A WG3会議報告、ISO TC114 WG1 対応審議、他。
15日(水)		誤飲対策セルWG	ハム代替試験結果について検討、他。

※会議は適宜Web会議等を活用

## 8月度電池販売実績(経済産業省機械統計)

(2020年8月)

単位:数量一千個、金額一百万円(小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

(2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む)

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

(2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません)

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	291,235	70,640	81%	103%	2,506,643	554,655	88%	95%
一次電池計	182,515	7,040	80%	89%	1,611,455	56,582	89%	94%
酸化銀電池	24,726	437	40%	51%	351,111	5,915	68%	80%
アルカリ乾電池計	111,420	4,440	120%	106%	758,870	30,260	108%	101%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	23,483	1,256	139%	106%	146,831	8,559	128%	115%
リチウム電池	46,369	2,163	63%	77%	501,474	20,407	84%	88%
二次電池計	108,720	63,600	84%	105%	895,188	498,073	86%	96%
鉛電池計	2,049	12,911	91%	90%	18,348	116,385	90%	93%
自動車用	1,601	8,339	94%	93%	13,858	72,754	89%	91%
その他の鉛蓄電池	448	4,572	81%	84%	4,490	43,631	94%	97%
アルカリ蓄電池計	38,183	14,280	94%	102%	305,131	116,963	86%	90%
ニッケル水素	35,276	13,721	94%	102%	282,270	112,421	86%	90%
その他のアルカリ蓄電池	2,907	559	101%	99%	22,861	4,542	87%	84%
リチウムイオン蓄電池計	68,488	36,409	79%	113%	571,709	264,725	86%	100%
車載用	39,135	25,373	77%	115%	339,366	184,551	86%	100%
その他	29,353	11,036	81%	108%	232,343	80,174	85%	98%

## 8月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2020年8月)

単位:数量一千個、金額一百万円(小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計 (輸 出)	134,579	41,201	69%	99%	1,296,016	307,302	85%	85%
一次電池計	57,461	1,662	59%	65%	646,614	17,499	79%	86%
マンガン	140	8	—	—	287	20	—	—
アルカリ	10,797	164	194%	173%	68,390	1,164	139%	128%
酸化銀	17,500	331	42%	63%	256,516	3,763	68%	78%
リチウム	28,845	1,032	57%	62%	320,736	10,656	83%	86%
空気亜鉛	178	2	—	—	682	8	75%	58%
その他の一次	0	125	50%	52%	2	1,888	62%	86%
二次電池計	77,118	39,539	79%	101%	649,402	289,802	91%	85%
鉛蓄電池	142	970	102%	98%	1,008	6,964	77%	71%
ニカド	1,173	144	188%	203%	5,896	817	80%	78%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	1	250%	383%
ニッケル水素	14,822	6,750	141%	74%	97,521	60,014	105%	84%
リチウムイオン	53,573	21,346	68%	120%	471,873	150,312	85%	101%
その他の二次	7,408	10,329	102%	91%	73,103	71,694	128%	66%
全電池合計 (輸 入)	119,648	15,528	114%	82%	1,031,919	141,656	108%	91%
一次電池計	113,774	1,991	117%	118%	969,012	15,513	110%	106%
マンガン	13,908	157	88%	98%	104,745	1,095	106%	105%
アルカリボタン	3,253	18	220%	141%	31,089	228	182%	171%
アルカリその他	81,051	1,039	123%	119%	694,166	8,561	109%	106%
酸化銀	369	10	707%	261%	1,408	48	151%	130%
リチウム	11,520	553	121%	109%	92,286	4,118	103%	97%
空気亜鉛	3,672	54	80%	59%	45,277	939	113%	109%
その他の一次	1	161	8%	490%	41	523	50%	152%
二次電池計	5,874	13,537	76%	78%	62,907	126,144	90%	89%
鉛蓄電池	648	2,920	108%	114%	5,479	25,065	104%	107%
ニカド	67	109	691%	92%	434	915	102%	84%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	—	—
ニッケル水素	1,603	375	116%	128%	15,889	2,983	109%	97%
リチウムイオン	3,517	9,441	62%	69%	40,663	90,054	83%	83%
その他の二次	40	691	27%	101%	442	7,126	47%	127%